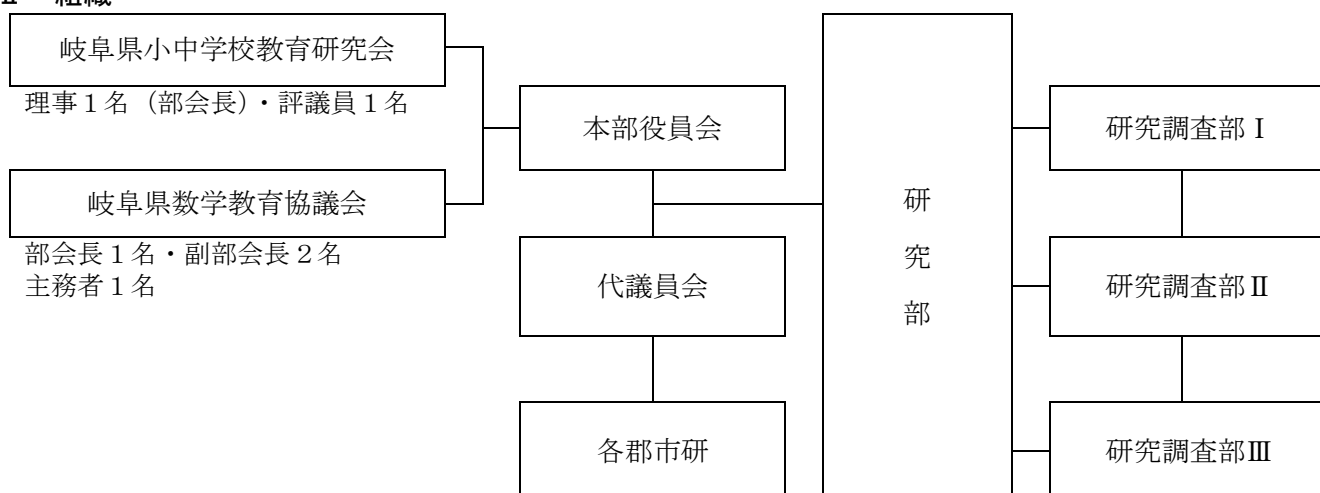


令和5年度 岐阜県小中学校算数科研究部会 活動方針

I はじめに

本会は、「岐阜県小中学校教育研究会小中学校算数科研究部会会則」に従って活動する。

II 組織



<本部役員会> ※令和5年度は、第1回（6月6日）、第2回（2月9日）共にWEB開催を予定。

部会長、評議員を含む副部会長3名、研究部調査部顧問3名、主務者、書記、会計、研究部長、研究調査部長3名の計14名で構成され、次のことを行う。

○活動方針など、基本的事項の原案作成、処理

- ・年次計画の立案、活動や研究成果の紹介（県小算研のホームページを中心に）、代議員会の運営、研究協議会の企画、運営

<代議員会> ※令和5年度は、第1回（6月29日）、第2回（3月5日）共にWEB開催とする。

各郡市の代議員によって構成される。

- ・提案事項の審議をする。
- ・調査部Iの授業研究会を行う。（授業は事前にWEBにて視聴）
- ・各郡市の研究の実践報告をする。
- ・他郡市の代議員と実践を交流し、地区委員を中心に重点課題にかかわって成果と課題を明らかにする。
- ・資料の提出について
 - 研究計画 ※提出済み
 - ・テーマ、設定理由、組織、研究計画、運営上の問題点等
 - 研究報告
 - ・1年間の研究の成果と課題等
 - ・各郡市で行われた授業研究会の指導案

※研究計画及び報告の提出先

<E-mail> ssk@syosanken.acs3.mmrs.jp

小算研HP上に保存・活用する関係上、デジタルデータで提出する。様式は、小算研のホームページよりダウンロードする。

<小算研のホームページ> <https://syosanken.acs3.mmrs.jp/>

研究報告の提出〆切 **12月22日（金）**

＜各郡市研＞

30の郡市に分かれ、各郡市の全会員によって、県小算研の研究テーマ及び研究の重点をもとに、今日の課題及び地域の実態に即した研究を進める。

＜研究部＞

- 研究テーマや研究の重点、研究の進め方を提案し、その成果を県内に伝えていく。
- 研究調査部ⅠⅡⅢの3部会を設置し、県内の研究をリードしていく。
 - ・小算研の研究テーマ、研究の重点を小算研の部会員の中心となって専門的に研究・追究したり、実践したりしていく。
 - ・自分たちの研究の方向をもとに、常任委員が中心となって「研究協議会」「東海地方数学教育研究大会（東数教）」の提案者の研究の支援及び大会運営をする。

【研究調査部Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ】

算数の今日的課題にかかわって、先行的に独自のテーマを設定し、実践研究していく。また、その成果を県内に伝えたり、今後の小算研の研究の方向を示したりしていく。

研究調査部Ⅰでは、今年度の研究の方向（第5号議案）を受け、学びの系統性や育みたい資質・能力を明確にして単元を構成し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える児童を育てる数学的活動を研究し、実践していく。

また、算数科における主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を視点として、授業改善を行っていく。

研究調査部Ⅱでは、教科書の「算数たまたまばこ」のような、児童の興味関心を高めたり発展的な内容を扱ったりする教材など、主に単元末における教材に関わる実践事例をまとめていく。

研究調査部Ⅲでは、「算数の授業の中での効果的なICT活用」をテーマに、県内の郡市ごとに導入されているICT機器や活用している学習支援アプリを調査し、それぞれの端末やアプリを効果的に活用した授業実践を行い、実践事例としてまとめていく。また、算数科学習Webシステム「NEW! GIFU ウェブラーニング」の効果的な活用方法についても吟味していく。

代議員会では、どの部もそれぞれの実践をもとにして、報告を行う。

Ⅲ 研究協議会 ※令和5年度は、対面とWEBのハイブリット開催とする。

＜研究協議会開催の意味付け＞

- 県内の実践をもとに、これからの算数教育のあり方を検討する場とする。
- 原則、研究調査部の成果及び、今後の実践研究の方向を強くアピールしていく場とする。

＜研究協議会の内容＞

- 全体会（部会長、来賓あいさつ等）
- 講演（講師：飛騨市教育委員会文化振興課文化係担当係長 三好清超 先生）
- 分科会
 - ・4分科会に分かれて、研究の重点にかかわる提案をもとに研究討議を行う。

＜分科会提案発表郡市＞

- ・岐阜市、羽島郡、養老郡、揖斐郡、郡上市、加茂郡、多治見市、高山市
→提案資料は、データ（wordファイルとPDFファイル）を小算研のメールアドレス

（ssk@syosanken.acs3.mmrs.jp）に送る。令和5年度の発表原稿は、**令和5年7月28日（金）を提出期限とする**。提案資料の様式は問わない。量は表裏2枚までとし、指導案など補足資料を含めても5枚程度とする。提案資料は、ホームページにアップし、参加者がダウンロードできるようにするため、資料内の個人情報の扱いに留意する。

Ⅳ 東海地方数学教育会三重大会 ※11月21日、WEB開催

＜分科会提案発表郡市＞

・加茂郡（低学年）、土岐市（中学年）、飛騨市（高学年）
→提案資料は、データ（wordファイルとPDFファイル）を小算研のメールアドレス（ssk@syosanken.acs3.mmrs.jp）に送る。**令和5年9月8日（金）を提出期限とする**。提案資料の様式は、主務者が代議員を通して配布する。

V ホームページのリニューアルについて

小算研のホームページをリニューアルした。より利用しやすいホームページの運営を進めていく。

＜小算研のホームページ＞<https://syosanken.acs3.mmrs.jp/>



小算研ホームページ